

平成29年第5回
産業建設常任委員会

所管事務調査報告

期 日：平成29年5月18日(木)
午前10時00分～午前11時35分

調査内容：上下水道課所管事務調査

- (1) 泉田統合受水施設等の現地確認
- (2) 概要説明

出席者：産業建設常任委員4人、傍聴者1人

説明者：上下水道課長、水道係長

国見町議会

渡 辺 勝 弘 委員長	2
村 上 正 勝 副委員長	3
阿 部 泰 藏 委員	4
村 上 一 委員	5

平成29年第5回産業建設常任委員会 上下水道課所管事務調査報告書

平成29年5月19日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 渡邊勝弘

【調査内容】 上下水道課所管事務調査

- (1) 泉田統合受水施設等の現地確認
- (2) 概要説明

泉田簡易水道統合による現場視察として、泉田新田送水ポンプ場、新たに新設した泉田赤坂配水池を視察した。また国見町主要水道配水池である源宗山配水池、町の水源地である、第5水源を視察して澁谷上下水道課長及び大竹係長より、現場説明を受ける。

その後、委員会室に戻り概要説明を受け、質疑応答に移った。

Q. 配管の耐震性は

A. 耐震比率は50%であり、(震度4)までの耐震40年の耐久性がある。

材質は配水ポリエチレン管を使用している。

Q. 漏水調査はどの様になっているのか

A. あたりをつけて、調査して音だけではなく、ヘリウムガス等を用い調査に努める。あわせて、老朽管の敷設工事を順次行っていく。

など、様々な意見が出された。

【感想】

今回泉田地区の簡易水道統合による水道管と送水ポンプと、新設された泉田赤坂配水池も視察が主だった。簡易的な給水管であるために、漏水の恐れがないのか、せつかく受水が増えることは喜ばしいかぎりではあるが、漏水率が上がってしまったら、最後には水道料金にはねかえってくることになってしまう。今後も漏水調査に細心の努力が求められる。送水量が一日1400トンまで増えた理由については、道の駅開業による増加あるそうである。また、町唯一の第5水源があり、その水源があるために漏水分を賄うほどの水源があることで水道料金の低減になっている。

今後も漏水率を下げる努力をお願いするとともに、私たちも水道の節水に努め、無駄な水道水を使わずに、安心・安全な水道水が供給されることに感謝しながら生活できることを考えさせられる調査だった。

以上

平成29年第5回産業建設常任委員会 上下水道課所管事務調査報告書

平成29年5月23日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 村上正勝

【調査内容・感想】 上下水道課所管事務調査

- (1) 泉田統合受水施設等の現地確認
- (2) 概要説明

今回の研修は、上下水道課の澁谷課長、大竹係長の案内により視察を行った。

泉田総合受水施設新田ポンプ場の視察では、今までは泉田地区で使用していた水を、町の水道水にして利用するための施設の新しくなった機械について説明を受けた。

その後、赤坂配水池の視察を行い、貯水タンクなどを設置されて泉田地区の高い所まで水道水が利用できるようになったことの説明を受けた。

その後、源宗山配水池を視察、最後に石母田地区の第5水源を視察した。第5水源を現在は町の水源池として利用しているとの事で、町の漏れている水道水を補うくらいの水道水を供給しているので、いくらか水道水の原価を下げている水源池であると思われる。

視察後、役場内の委員会室において、現在の町の水道水の利用は、道の駅のオープンもあり利用が増えていることや、貝田配水池はサービスエリアへの水供給など、町の水道水の大切さについて説明を受け、安全な水を利用していくためには費用もかかるし、今後も町の上下水道課は水道利用者のために尽力いただきたいと思った。

以上

平成29年第5回産業建設常任委員会 上下水道課所管事務調査報告書

平成29年5月23日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 阿部泰藏

【調査内容・感想】 上下水道課所管事務調査

- (1) 泉田統合受水施設等の現地確認
- (2) 概要説明

- 調査目的 : 泉田地区簡易水道は、平成28年度で解散し、平成29年4月1日から新たに、町水道に加入することになり、町の新たな施設など調査した。
- 現場視察 : ①泉田新田ポンプ場、②赤坂配水池、③源宗山配水池
④第5水源
泉田地区の町水道へ加入戸数と人口：187戸、人口706名

国見町の簡易水道組合は、貝田、石母田、山崎、内谷、鳥取、小坂、泉田の7地区にあった。簡易水道の利用割合は、町全体の約2割だった。

平成18年から、摺上川ダム受水に伴い、町の簡易水道組合は、保健所の指導もあり、全簡易水道組合は、解散することになった。

泉田地区も、今年4月1日から町水道の一元管理となり、水道水の安心安全のためにもよかったと思う。

以上

平成29年第5回産業建設常任委員会 上下水道課所管事務調査報告書

平成29年5月23日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 村上 一

【調査内容】 上下水道課所管事務調査

- (1) 泉田統合受水施設等の現地確認
- (2) 概要説明

泉田新田送水ポンプ場、泉田赤坂配水池を視察。おもに泉田新田に配水。泉田地区では今まで簡易水道組合で運営していたが、現在は統合し、187世帯に配水。

その後源宗山配水池（1400トン）と石母田山の伏流水井戸からくみ取っている石母田第5水源を視察。

東日本大震災に係る水道被害や給配水管の老朽化による漏水が多く、今年度は10カ所の給配水管布設替工事を予定している。

安全・安心な水道水の為、水道水のモニタリング検査を週1回実施している。

【感想】

阿武隈川の伏流水を水源にしていた時代があったが、塩酸が強くまずい水道水であった。現在はすりかみ川の水を使用するようになり、冷たくおいしい水になった。週1回の水質検査により安全・安心の水道水が供給されていると思う。

以上